

Akerman、経験豊富な猿見田寛弁護士の加入により、日本セクターチームを発足

全米トップクラスの法律事務所 Akerman は、本日、日本および国際的に事業を展開する日本企業に焦点を当てた[新たなセクターチーム](#)の立ち上げを発表しました。

多くの専門分野にわたるこの日本セクターチームは、アジア、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、カリブ海諸国、中東の35か国以上にまたがる国際取引や紛争における当事務所の強力な実務能力を基盤としています。

日本セクターチームは、オリックのグローバル ジャパン トランザクション プラクティスの米国代表を務めた[猿見田寛弁護士](#)の Akerman 着任をもって始動します。

猿見田弁護士は30年近くにわたり、クロスボーダーM&A、合併事業、企業再編、コーポレートファイナンス、多国間訴訟やその他の紛争、さらには危機管理対応において、数多くの日本企業およびグローバル企業を代理してきました。また、独占禁止法、製造物責任、知的財産、雇用問題の分野におけるさまざまな紛争において日本企業にアドバイスを行ってきました。

日米間のコーポレート M&A におけるその専門知識が評価され、*Chambers* の「グローバル・トップ弁護士」に選出されている猿見田弁護士は過去に以下のクライアントの案件で代理人を務めた実績を持っています。

- 株式会社 NTT ドコモ - 親会社である日本電信電話株式会社による400億ドルの公開買い付けによる「非公開化」取引 - 日本企業としては史上最大の公開買い付け - (2021年 ALB Japan Law Awards「テクノロジー・メディア・通信」部門受賞) および Magic Leap, Inc. に対し両社間の戦略的パートナーシップの一環として行われた2億8,000万ドルの投資。
- 大塚製薬株式会社 - 35億ドルでの Avanir Pharmaceuticals, Inc. の買収、8億8,600万ドルでの Astex Pharmaceuticals, Inc. の買収、および臨床段階のベンチャー製薬会社、Neurovance, Inc. の買収。
- 豊田自動織機 - Toyota Motor Credit Corporation の金融事業の、20億ドルでの買収。
- 株式会社三井住友銀行 - Flagship Rail Services LLC (資産規模約11億米ドル) の買収。
- 東レ株式会社 - Zoltek Companies Inc. の5億8,400万ドルでの買収。
- リンテック株式会社 - MACtac Americas LLC の3億7,500万ドルでの買収。
- 株式会社東芝 - Westinghouse Electric Company の54億ドルでの買収。

また、猿見田弁護士は、以下のクライアントの案件の代理人も務めています。

- 日東電工株式会社 - Bristol-Myers Squibb Company に対し、日東電工が治験を行っていた siRNA 分子の開発および商業化に関する全世界を対象とした独占的権利のライセンスアウト、ならびに Avecia Biotechnology, Inc. および Irvine Pharmaceutical Services, Inc. などの米国企業買収。
- カルビー株式会社による Warnock Food Products, Inc. の買収。
- 丸紅株式会社による Creekstone Farms Premium Beef, LLC の買収。
- 日本ゼオン株式会社による Edge Precision Manufacturing, Inc. の買収。

日米両国で教育を受け、多国間の法律、ビジネス、文化の違いに関する知識と感度を備えた猿見田弁護士は、国や複数の法域にまたがるトランザクションにおいて、革新的なソリューションを見つけ出し、効率的に成果を出すことのできる特質を有しています。異なる業界やさまざまな種類のトランザクション、複数の専門分野にまたがる数多くの複雑で困難な案件を指揮して成功に導き、多くのクライアントの戦略的目標の達成を支援してきました。

猿見田弁護士は、Akerman のニューヨーク事務所で[マイケル・“マイク”・ドハティ](#) 弁護士と日本トランザクションチームの共同リーダーを務めることとなります。6 か月前に Akerman に入所したドハティ弁護士は、日本企業の M&A に関して豊富な実績を有しています。ドハティ弁護士は、合併・買収、合併事業、戦略的提携において、日本の製造、貿易、サービス企業とその海外関連会社、その他の国際企業および米国企業の代理を中心に業務を行っています。

また、長年にわたり米国で事業を展開する日本企業の代理人を務めてきた[リチャード・ブロスニック](#) 弁護士が、日本訴訟チームリーダーを担当する予定です。ブロスニック弁護士は、独占禁止法訴訟および同法のアドバイス、金融サービスおよび証券訴訟、ビジネス契約訴訟と仲裁において、米国企業や国際企業の代理人を務めています。ブロスニック弁護士のクライアントは、金融サービス、家庭用電化製品、建材および製造、電気通信、製薬など、多くの分野に及びます。

日本セクターチームには、日本企業のビジネスと意思決定プロセスを深く理解し、トランザクション、訴訟、規制、事業、運営に関する幅広い問題において、これらの日本企業とその海外子会社を支援してきた長年在籍する Akerman の弁護士も含まれます。本チームは、クロスボーダー M&A、投資、合併事業、不動産ファンドの組

成、資産取得、賃貸、資産管理および譲渡、輸出入管理のコンプライアンス、事業上の訴訟、独占禁止法の問題に関する経験をクライアントに提供します。

Akerman の会長兼 CEO である[スコット・マイヤーズ](#)はこう語ります。「私たちのサービスは、クライアントのニーズによって形作られ、世界中に拡大してきました。私たちは、当事務所の弁護士チームが日本を拠点とするクライアントのために長年に渡って築いてきた実績をもとに、さらに発展を続ける上で、有利な立場にあります。私たちは、猿見田寛弁護士やマイク・ドハティ弁護士、リチャード・ブロスニック弁護士のような、日本関連のトランザクションと訴訟の世界における著名な権威を Akerman に迎えられることを光栄に思います。日本セクターチームの強力なリーダーシップを通じて、クライアントへのサポートをさらに強化できることを楽しみにしています。」

Akerman のコーポレート プラクティス グループ共同代表、[ジョナサン・オーナー](#)は、加えて「日本は私たちのクライアントとしてますます重要性を増している市場であり、私たちはここ数か月でマイク・ドハティ弁護士を迎え、今回、猿見田寛弁護士を迎えて、既存の実務能力をさらに強化させてきました」と述べています。「私たちは、才能、知識、経験のユニークな組み合わせを活用することに誇りを持っており、それによって私たちは日米の事業運営にとって理想的なパートナーとなり、クライアントの日常的な課題を軽減することができます。猿見田寛弁護士とマイケル・ドハティ弁護士は、両国間の法的および文化的な違いを埋め、日本のクライアントが米国や世界で戦略的投資を実行できるよう効果的に支援するのに役立つ素晴らしい経験を持っています。」

「Akerman には、米国でビジネスを行う国際的なクライアントと協働してきた長い歴史があり、脅威を感じさせ、また混乱を生じさせがちな訴訟制度をクライアントが理解した上で、成功を獲得するために、戦略的なビジネス的視点のアドバイスを提供しています。」と、訴訟プラクティス グループ代表の[ラリー・ロシュフォール](#)は述べています。「新しい日本セクターチームには、日本企業へのアドバイスに豊富な経験を持つ素晴らしい人材が結集しています。私たちは、法廷で勝つだけでなく、そもそも訴訟を回避するために、クライアントが法的戦略をビジネス上の利益に合わせて調整できるよう支援します。」

インターナショナル プラクティス部門の代表を務める[ペドロ・フレイル](#)はこう語ります。「私たちは、米国および海外で事業を展開するクライアントのニーズをサポートするために、深い国際的な専門知識への投資を続けていきます。複数の法域にまたがるコンプライアンスならびにビジネス上の目標および現地事業の現実のバランスをとりながら、同時にプロセス全体のシームレスな管理を維持するには、経験豊富な弁護士の熟練した対応と深い理解が必要です。猿見田寛弁護士、マイク・ドハティ弁護士、リチャード・ブロスニック弁護士はこれらの問題に対応する豊富な経験があり、日本に関心のあるクライアントに対するチームリーダーとして大きな価値をもたらしてくれるでしょう。」



Akerman について

Akerman LLP は、*Financial Times* 紙によって業界で最も先進的な法律事務所の米国トップ 100 に選ばれた法律事務所です。700 人を超える弁護士やビジネス専門家が、世界の最先端を走る企業や起業家と協働して、変化を乗り越え、チャンスをつえ、イノベーションと成長の推進を支援しています。